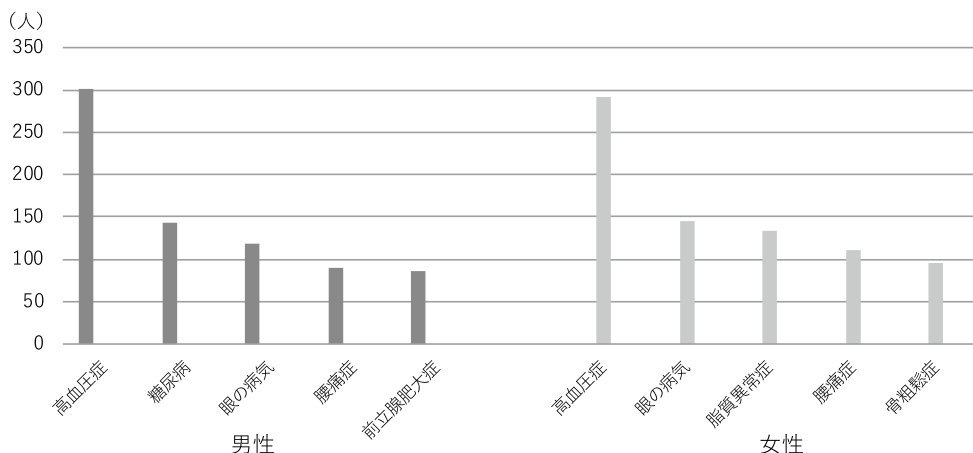




通院者率（人口 1,000 対） 上位 5 傷病（65 歳以上男女別）



厚生労働省は「国民生活基礎調査」の中で、傷病で通院している者（通院者）の割合（人口 1,000 対）を調査している。65 歳以上の男女別でみると、男女ともに「高血圧症」が最も高く、男性は「糖尿病」、「眼の病気」、女性「眼の病気」、「脂質異常症」がこれに続く（傷病は複数回答可）。「高血圧症」は男性では 40 代から、女性では 50 代から、通院者率が最も高い傷病であり続けている。男女別で確認すると、男性が 388.1 人、女性は 418.8 人と女性のほうが高いが、65 歳以上の通院者率は男性のほうが高い。年齢階級別では、10～19 歳の通院者率が 140.1 人と最も低く、80 歳以上の 730.3 人が最も高い。また男女ともに、20～40 代の比較的若い世代において「うつ病やその他こころの病気」が上位に上がっていることが目につく。

厚生労働省「2019 年（令和元年）国民生活基礎調査」より作成